

## 「3年生の声①」

今回を含めて2回にわたり「3年生の声」を掲載します。南商野球部で3年間過ごし、厳しい練習に耐え、学習も手を抜かずに頑張ってきた3年生の様々な思いをお届けします。



私はこの南商野球部に入り、野球の技術はもちろんのこと、普段の生活・行動面でも大きく成長することができました。技術面では入学当初に比べ球を投げられるようになり、打っては打球が飛ぶようになりました。生活・行動面では、社会に出て通用するように小林先生がしっかりと指導してくれました。

また、野球に取り組む環境としても、私立の高校と同じくらいの施設設備や素晴らしいグラウンドがあり、その中で野球ができることは大変喜ばしいことです。さらに、南商野球部は野球だけをやっているわけではありません。部として勉強会というものを活動の一環として行っています。そのおかげでテストの点数が上がったり、多くの検定を取得したりすることができました。勉強を続け、検定を取得することで、将来の選択肢が広がってきます。また、小林先生は自分たちの進路が決まる最後まで面倒を見てくれます。2年と数か月、決して楽なものではありませんが、高校でも野球を続けたいと思っている中学生の皆さん、ぜひ南商野球部で頑張ってみてはどうですか。

【 主将 捕手 幕別札内中学校出身 】



南商野球部は、他の高校に負けない施設設備が整っています。グラウンドを一目見ればわかるとおり、良い土・良い芝、そしてボール、バット、マシンなど練習に欠かせない道具が充実しています。

また毎週、札幌や旭川へ遠征に行き、多くの強豪校と練習試合をすることで、全国レベルの野球を肌で感じる事ができ、その後の練習の意欲につながりました。

この南商野球部に入って良かったと思うことは、野球の技量の向上はもちろんのこと、1番は「人間性」を鍛えられたことです。野球部に入らなければ、自分で、気がつき、直すことのできなかつた欠点と向き合うことはできなかつたと思います。野球部の活動を通して、自分自身としっかり向き合うことができました。それでも、向き合いきれない自分に対し、先生は真剣に指導してくれました。僕は、南商野球部に入り、小林先生と出会えたことを本当に良かったと感謝しています。僕にとって南商野球部で学んだこと全てがこれから人生の大きな財産だと思っています。

【 投手 陸別中学校出身 】



南商野球部は、バッティングマシン・バッティングゲージ・ボール・バットの数、宿泊施設にトレーニング室など、練習環境や道具が充実しており、さらにグラウンドの土は支部予選の行われる帯広の森球場と同じ土を使っています。

南商野球部は体作りに力を入れています。私は体が小さく、入部当初は、打っても芝の切れ目まで打球を飛ばすのがやっとでした。しかし、南商野球部の練習を得て3年生になると、入学してから体重を約10kg増やすことができ、柵越えが打てるまでに成長することができました。オフシーズンには商業高校の特色を活かし検定取得に取り組みます。その結果、野球部の3年生全員が全商検定1級を4種目以上取得することができました。進路においても、取得した検定を活かし就職・進学どちらにも対応することができると思います。南商野球部の取り組みを通し、野球の技量の向上、人間的な成長を感じることができました。高校野球を父と同じ、この南商野球部で過ごせたことを誇りに思っています。

【 内野手 帯広緑園中学校出身 】



僕は南商野球部に入部して本当に良かったと思います。南商に入学して野球部に入部していなければ今の自分は無かったと思っているからです

南商は、どの学校にも負けないような施設設備が整っています。グラウンド、野球道具、トレーニング室など、野球をする環境が素晴らしいです。さらに食事指導、ウェイトトレーニングなどで結果を残せる体作りもできます。僕たちは試合には負けてしまいましたが、小林先生のもと、南商野球部に精一杯力を出し、最後までやりきることでできる状態を作ってもらいました。

さらに、南商野球部では勉強にも力を入れています。練習が忙しく、家に帰ってから勉強をするのはとても辛いのですが、部員全員で勉強会に取り組むことで、テストでも良い成績を残せますし、全商検定1級も数多く得することができます。取得した資格は就職、進学に活かすことができます。

今、こうして考えてみると、南商野球部に入部したからこそ、今の自分があり、これからの自分もあるのだと思います。一度は挫けそうになりましたが、小林先生、柴崎先生、担任の先生をはじめ、諦めず関わってくださった先生方、さらに応援してくださった多くの方々のおかげで、悔いの残らない高校野球生活を送ることができました。本当に感謝しています。

【 内野手 幕別札内中学校出身 】